



しあわせ信州

長野県(北信地域振興局)プレスリリース 令和6年(2024年)11月1日

銀座 NAGANO セミナー開催のお知らせ

秘境に生きる ～豪雪の地で育まれた 自然と共に生きる術(すべ)～

11月24日(日)に銀座 NAGANO において秘境「秋山郷」に関するセミナーを開催します。本セミナーの参加者は、地元食材を使った料理を食しながら、マタギ・研究者から「自然と共に生きる術」をお聞きいただけます。

秘境に生きる ～豪雪の地で育まれた自然と共に生きる術(すべ)～

日時

令和6年 **11月24日**(日) 12:00～14:00 (開場 11:30)

場所

銀座 NAGANO (東京都中央区銀座5丁目6-5)

詳細は別添チラシをご覧ください

講師

白水 智 氏
(中央学院大学 教授・地域史料保全有志の会)
福原 和人 氏
(小赤沢民宿出口屋・マタギ)
福原 とも子 氏
(栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)



主催

長野県北信地域振興局、栄村


参加費

3,000円 地元食材を使った料理、ドリンク付き

定員

24名 (先着申込順)

申込み

銀座 NAGANO ホームページ ➡ 
<https://www.ginza-nagano.jp/event/72872.html>

※申込締切 令和6年11月17日(日)



雪が3メートル積もることある豪雪地「秋山郷」。「雪」は、この山深い集落を街から孤立させる脅威であると同時に、人々の暮らしを支え自然を潤す強い味方でもあります。

住民は、「雪」で現れる道を使い、「山」から必要なものを得て生活しています。

それは、自然を敬い、雪や山の恵みを最大限に活用する「技(わざ)」・「知恵」・「文化」が現代まで大切に受け継がれているからこそ。

本セミナーでは、マタギ・研究者らが自然と共に生きる術(すべ)を解き明かします。

こどもまんなか

みんなでつくろう! こども・子育てに優しい信州

(問合せ先)

北信地域振興局商工観光課 中原

電話 0269-23-0219 (直通)

0269-22-3111 (代表) 内線 252

F A X 0269-23-0256

E-mail hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp

NAGANOKEN
SAKAEMURA
AKIYAMAGO



秘境に生きる

「豪雪の地で育まれた自然と共に生きる術(すべ)」



日時・場所

2024 **11.24** 日

12:00~14:00 (開場11:30)

銀座NAGANO

東京都中央区銀座5丁目6-5
2階イベントスペース

参加費 **3,000円**

ジビエや山菜など地元食材を使ったお料理、ドリンク付き
※食事提供開始は13:20頃になります

定員 **24名** (先着申込順)

雪が3メートル積もることもある豪雪地「秋山郷」。
「雪」は、この山深い集落を街から孤立させる脅威であると同時に、人々の暮らしを支え自然を潤す強い味方でもあります。
住民は、「雪」で現れる道を使い、「山」から必要なものを得て生活しています。
それは、自然を敬い、雪や山の恵みを最大限に活用する「技(わざ)」・「知恵」・「文化」が現代まで大切に受け継がれているからこそ。
本セミナーでは、マタギ・研究者らが自然と共に生きる術(すべ)を解き明かします。

講師

白水 智 氏

(中央学院大学教授/地域史料保全有志の会)

福原 和人 氏

(小赤沢民宿出口屋・マタギ)

福原 とも子 氏

(栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)

冬の秋山郷では、道にイワナが流れてくる!? 秋山トリビアは裏面をcheck >>>

【申し込み】 **銀座NAGANO** ホームページ

問い合わせ

栄村役場商工観光課

営業時間: 9:00~17:00 (休業日 土・日・祝)

☎ 0269-87-3355

【主催】長野県北信地域振興局・栄村

申し込み締め切り

11/17 日



秋山郷とは・・・

長野県栄村と新潟県津南町を流れる中津川溪谷に点在する集落で、日本の秘境100選に選ばれています。



高い山に囲まれたこの溪谷の郷では、厳くも豊かな自然と共に生きるための生活文化が現代まで大切に受け継がれてきました。

また、マタギと呼ばれる狩猟民たちが、昔からの儀礼や作法を守り、集団で熊猟などを行いながら、山への信仰を強く持ち暮らしている地域です。



マタギの脳内地図は地図アプリよりも詳しい？

マタギは山のスペシャリスト。狩猟だけでなく、山菜や地形にも詳しい。一般的な地図に載っていない小さな沢にも名前を付け、場所を記憶しています。また、四季を通じて山を歩くので、積雪で状況が変化しても木や沢の形などの特徴を聞けばどの位置か想像できるため、遭難救助時にも役立っている方もいます。

アップダウンが多い秋山郷の道。大量の雪が降る冬には、路面の凍結防止のために、ヘリが付いた道に川の水を引いて流している場所があります。そのおかげで、斜面を滑ることなく車で走れるのですが、たまに川からイワナが流れてきてしまうことも・・・水が豊富な秋山郷ならではの、レアポイントです。

冬の秋山郷では道にイワナが流れて来る！？

雪が降った時だけ行ける場所がある！？

背丈以上もある草木が生い茂った藪も雪の下になれば、歩いていくことができます。また、春先の冷えた朝には雪の表面が凍り、沈まないで歩ける「凍(し)み渡り」ができます。



講師紹介



白水 智 氏

(中央学院大学教授/地域史料保全有志の会)

神奈川県生まれ。これまで日本史の中では後進的な生活を営む地域と考えられ、注目されてこなかった山村地域の生活文化や支配のあり方に興味をもち、研究している。

秋山郷には25年ほど調査に通い、江戸時代の古文書を中心に山村の実態を調べ、その知恵や技術の高さ、そして山の豊かさに大きな刺激を受けてきた。

著作に『知られざる日本一山村の語る歴史世界』『古文書はいかに歴史を描くのかーフィールドワークがつなぐ過去と未来ー』(ともにNHKブックス)、『山村は災害をどう乗り越えてきたか』(小さ子社)など。



福原 和人 氏

(小赤沢民宿出口屋・マタギ)

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち、六代目の現役マタギ。

ご先祖は、マタギの本場である秋田の阿仁出身。秋山郷にやって来て、そのまま住み着いたとのこと。「獲物は山の神様からの授かりもの」という感謝の気持ちを大切に、掟を守りながら狩猟に出かけている。

また、日本百名山である苗場山の登山ガイドのほか、かつては村の村議会議員の議長を務めるなど、地域の振興活動に積極的に取り組まれている。経営している民宿「出口屋」のキャッチフレーズは、「クマの話とおいしい水」。「出口屋」の名の由来は、敷地内に大きな泉(水の出口)があるから



福原 とも子 氏

(栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員)

長野県栄村秋山郷生まれ秋山郷育ち。聴覚障害の母を持つこともあり、お婆ちゃん子にて方言が強い。幼い頃から年齢問わず秋山の方々と接し色々教えを請い見聞きしてきたことら、「地元にて自分でも役に立てることを。」と思い結婚後3人の子育てをしながら、「げたばきヘルパー」と掛け持ちで、観光案内所に勤務し、その後秋山郷観光協会事務員を経て、現職。研究者をはじめ、秋山と関係を持つ人にとって頼れる存在となっている。

※開催内容の変更や中止となる場合がございます。予めご了承ください。

もっと知りたい方は！是非セミナーにご参加ください